

# 伊豆の国市ってこんなところ!

いきなりの移住には不安がつきもの。アクセスはどのなの? 暮らしの環境は? お金は? など移住を検討する前に知っておきたい情報をご紹介します。



## 電車でのアクセス

- 伊豆長岡駅から三島駅  
伊豆箱根鉄道駿豆線で約**20分**
- 三島駅から東京駅  
東海道新幹線「ひかり」号で約**45分**、  
または「こだま」号で約**1時間**
- 三島駅から名古屋駅  
東海道新幹線「ひかり」号で約**1時間40分**、  
または「こだま」号で約**1時間50分**

## お車でのアクセス

- 東京から沼津インター・長泉沼津インター…………… 約**60分**
- 名古屋から沼津インター・長泉沼津インター …… 約**2時間30分**
- 沼津インター・長泉沼津インターから伊豆の国市 …… 約**25分**

伊豆の国市から首都圏へ。  
伊豆の国市から伊豆・箱根の観光地へ。  
生活拠点としてバツグン。



# 伊豆の国市への移住を応援します!

伊豆の国市移住定住支援サイト「Life izu Country」にアクセス!!



Life izu countryは、移住や定住に興味がある人のためのサイト。  
伊豆の国市の基本情報から子育てや仕事といった暮らしの情報等を紹介するとともに、移住に関するイベント・相談会の告知なども行っています。  
また、リアルな「いずのくに暮らし」が少しでも想像しやすいよう、市内の様子や市民の写真を多数掲載。  
暮らしの主要な場所がわかるマップや先輩移住者さんのインタビュー記事もあるので、ぜひ一度ご覧ください。

「Life izu country」って?

田舎すぎず、都会でもない、  
“ちょうどよさ”が魅力の「いずのくに暮らし」

Life is country

自然に囲まれた「田舎暮らし」

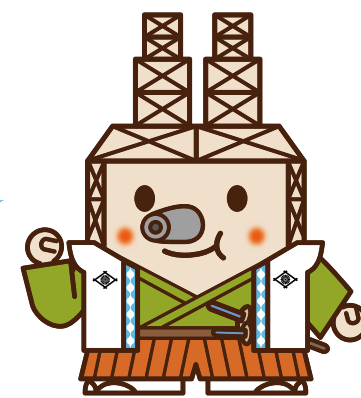


伊豆の国市へ住みかえる。移住を考える際に、まずは相談してみませんか?

- ◆ 伊豆の国市の移住担当者と直接話せる「対面相談」
- ◆ 電話やEメールによる相談
- ◆ Zoomを使ってオンライン相談「おうちで移住相談」



オンライン相談の方法は  
移住定住サイトに掲載  
しているもの!



お問い合わせ・ご相談

## 伊豆の国市 企画課

〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1 伊豆の国市役所伊豆長岡庁舎2階  
☎055-948-1413 ✉seisaku@city.izunokuni.shizuoka.jp

詳しくは  
WEBサイトをチェック!



伊豆の国市 移住

(令和4年4月現在)

伊豆の国市  
Izunokuni City

# 移住定住ガイドブック

SHIZUOKA IZUNOKUNI HABITATION SUPPORT



自分らしく働きたい。

伊豆の国市に、次は住もう。

のびのび子育てしたい。

ほぐよい田舎で暮らしたい。

アウトドアアクティビティを楽しみたい。

伊豆の国市移住定住支援サイト

<https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/seisaku/ijuuteijuu.html>





# うるおいのくに 伊豆の国市

心豊かに過ごせるこのまちを、あなたの「帰る場所」にしませんか。

## 知る

どんなまち？

## 働く

自分らしく働く

仕事も遊びも暮らしにも。  
都会と田舎、両方を求めるあなたへ、  
どっちもという選択を。

伊豆の国市は中心部には狩野川が流れ、東西を山に囲まれた、田園風景と豊かな自然が広がるまちです。スーパーやコンビニ、病院、公園など、生活に必要なものは市内にそろっており、東京圏へのアクセスも良く、田舎すぎず、都会でもない、“ちょうど良さ”が一番の魅力です。

それぞれの仕事スタイル。  
ここに住んで、やりたいコトが  
いっぱいある。

伊豆長岡駅から東京駅まで、電車で最短65分、首都圏への通勤も可能です。また、新規就農に対する支援が手厚いことも特徴です。生産技術から経営ノウハウの習得、農地の取得まで細やかにサポートし、伊豆の国市における就農定着率はほぼ100%です。

## くらす

このまちに暮らす

## 育てる

のびのび子育て

人と人がつながっている。  
エンジョイ&リラックス。言葉では  
表現しきれない世界が広がる。

高度医療の機能を持ち救急救命センターを有する順天堂大学医学部附属静岡病院をはじめ、医療機関が点在。足湯や日帰り温泉施設も充実し、温泉で心も体もリフレッシュできます。また休日には、アウトドアレジャーを堪能できる豊かな自然に囲まれています。狩野川でのカヌーやカヤック、釣りなどのアクティビティも充実しています。

家族や自分の成長を照らし  
合わせていく。一人じゃないという  
心の支えや頼もしさ。

高校生まで医療費無料、放課後児童クラブは全小学校に完備。病児保育、一時保育、一時預かりなどの支援も充実。地域で育児サポートのファミリーサポート事業も実施され、子どもの送迎や預かりなどの援助を受けることができるので、働くパパママも安心。情報交換や悩みを相談したいときは、市内にある子育て支援センターや市主催の育児相談、のびのび広場などをご利用できます。

## 先輩に聞きました！～移住者が語る伊豆の国市～



2014年移住

ミニトマト農家として新規就農  
米田さんご家族



2014年移住

イチゴ農家として新規就農  
小森さんご家族



2017年移住

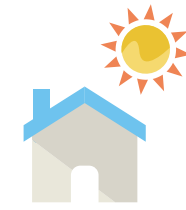
子育てと仕事を両立  
中野さんご家族

関西出身で、名古屋や奈良で勤務していましたが、「しずおか新規就農チャレンジ体験」への参加をきっかけに就農を決意。農業に欠かせない農地と販路の確保など、就農支援制度が充実していることから、伊豆の国市への移住を決めました。移住後は家族との時間も増え、充実した日々を送っています。

東京でサラリーマン生活を経てニューファーマーに。伊豆の国市では、15年以上前から市やJA、受入農家等が連携して就農を支援しており、就農までの道筋が整っているので、スムーズに就農できました。会社勤めと違い、農業は全てが自己管理なので、その分ストレスフリーに生活できるようになりました。

移住前は横浜市に住んでいましたが、ストレスを感じることなく、子どもを元気いっぱい、のびのび育ててあげたいと思い、両親の暮らす静岡県に戻ることを決意。理想の暮らしを求めて伊豆の国市へJターンしました。在宅ワークで働くことで、子育てでも仕事も充実した日々を過ごしています。

# 伊豆の国市と首都圏の暮らしを比べてみました。



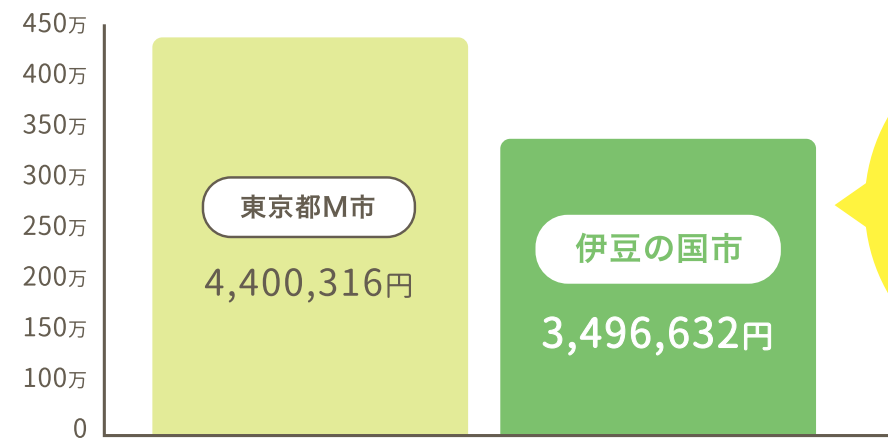
移住後の生活費が、どう変わるのかをシミュレーションしてみました。具体的なライフプランを考えてみましょう。

## [消費支出額] 1世帯あたりの1年間の支出額

夫婦2人+小学生1人の場合/賃貸70㎡の場合

伊豆の国市で新築住宅を購入した場合、2人以上の勤労者世帯(夫婦2人+小学生1人)による消費支出額を比べてみると東京の賃貸住宅で生活する方が90万3684円多く、物価や土地価格の違いで伊豆の国市が低い結果となっています。

新築住宅購入、建蔽率80%、2階建て、  
新築時坪単価50万円  
支払い 月額返済額102,096円/月  
(ローン借入金額3500万円(総額76.7%)  
返済金額35年、金利1.2%)



※出典元/平成26年度経済産業省 生活コストの「見える化」システム

東京⇒伊豆の国市  
1年間で  
約90万円の  
生活費の余裕が  
出来る

豊かさ  
143%  
約29万円  
プラス

## [暮らしやすさの貨幣価値]

暮らしやすさをお金に置き換えると東京と比べ、どれだけ暮らしやすいかを比較してみました。

指標	東京都M市	伊豆の国市	
自然環境	周辺の緑(農地や森林)の多さ 空気のきれいさ、水のきれいさ、年間平均気温	155,583円	186,285円
働きやすさ	通勤通学時間、地域の求人倍率	72,870円	246,576円
教育・子育て	小中学校までの距離、 学校での子供に対する先生の目の届きやすさ、 大学までの距離、保育所の待機児童率	383,142円	384,912円
ライフスタイル	地域で採れた食材の入手のしやすさ、治安の良さ、 地域の活動に関わる人の割合	58,496円	142,440円
合計	670,091円	960,213円	

※出典元/平成26年度経済産業省 生活コストの「見える化」システム ※30代、利便志向、夫婦と子供(小中高生)世帯 指標項目一部抜粋

# SHIZUOKA IZUNOKUNI BEST SELECTION 3

伊豆の国市の  
ココが凄い!

伊豆の国市民が、全国に自慢したい暮らしをご紹介します。“仕事も、子育ても、レジャーも充実させたい!”  
そんな欲張りな方に、ぴったりの伊豆の国市の暮らしをご紹介します。

SELECTION 1  
住んで安心  
子育ての  
まち

都会では得られない特権が  
盛りだくさん。豊かな自然環境と  
安心の体制で、のびのびと  
子どもを育てることができます。

地域ぐるみで、  
子育てサポート



孤独になりがちな子育てをサポートする伊豆の国市の子育て支援。地域交流が多いからこそ頼れる人ができ、育てやすいのはもちろんのこと、保育料や医療費などの行政支援も充実しています。

保・幼・小・中の  
一貫教育



幼稚園や保育園から中学校までが連携した教育体制により、確かな知性が身につきます。個性を大切に教育力の高さは、安心して子育てできる重要な要素の1つです。先生たちも細やかにサポートしてくれれます。

自然の中で、  
のびのび学ぶ



日々、豊かな自然の中で遊びながら、人間性や感受性を育むことができます。土いじりや季節の花々、鳥の声など、自然に親しむことで子どもたちが自ら、感じ・学び・応用力を身につけることができます。

市内に点在する  
いで湯



伊豆三古湯の1つで1300年の歴史をもつ「古奈温泉」と明治に開湯された「長岡温泉」からなる伊豆長岡温泉をはじめ、市内には憩いの場、無料の足湯が、心も体も癒してくれます。

恵まれた  
自然を堪能



登山初心者でも楽しめるトレッキングやハイキング、サイクリング、パラグライダー、狩野川の釣り、カヌー、SUPなど数多くのアクティビティが充実。年間を通じてレジャーを楽しめます。

地域が誇る  
歴史探索



世界文化遺産の富士山反射炉をはじめ、市内には弥生から近代にいたるまで、数多くの歴史資源が存在します。市内には16もの国指定・国登録文化財が存在し歴史散策ができます。

SELECTION 2  
住んで満足  
レジャーの  
まち

豊かな自然と歴史を堪能。  
休日は、ゆったり&  
アクティブにレジャーを  
満喫することができます。

SELECTION 3  
住んで心強い  
生活基盤が  
整うまち

健やかに元気に生きることが  
できるまち。食・医療・福祉  
などの生活基盤が整って  
いるのが特徴の1つです。

地元野菜が  
食卓を支える



安全・安心な食材が、いつでも安く手に入ります。採れたて野菜や果物が、食卓を彩り、日々の健康をサポート。「毎日、食べるものだからこそ、こだわりたい。」そんな想いに応えてくれます。

誰もが  
いきいき



高齢者でも健康で生きがいを持って暮らせるように、介護予防の体操教室や地域サロンなどの交流の場づくりが積極的に行われています。年齢や生活の場面に応じて自主的に健康づくりができます。

県内トップクラスの  
医療体制



順天堂大学医学部附属静岡病院をはじめ、充実した医療体制が整う全国でも有数の市です。人口10万人あたり医師・薬剤師の数が、県内市の部で1番という実績も、生活を営む上で心強いです。